



いわきの
めぐみ
IWAKI NO
MEGUMI



いわき市 就農支援 パンフレット

いわき市





いわき市ってこんなところ！



いわき市は、福島県の東南端、茨城県と境を接する、広大な面積を持つまちで、東は太平洋に面しているため、寒暖の差が比較的少なく、温暖な気候に恵まれた地域です。地形は、西方の阿武隈高地（標高500～700メートル）から東方へゆるやかに低くなり、平坦地を形成し、夏井川や鮫川を中心とした河川が市域を貫流し、太平洋に注いでいます。



- いわき市ってこんなところ！ 2
- いわき市の1年／いわき市の生産マップ 3
- 農業を始める前に知っておこう 4
- 太陽に育まれる、いわきのうまいもの特集 5・6
- 先輩農家さんに直撃インタビュー！ 7・8
- いわき市の新規就農支援制度 9
- アクセスマップ／いわき市についてのHPはこちら 10

1. 人口：321,479人（令和5年10月1日現在）
2. 世帯：141,460世帯（令和5年10月1日現在）
3. 面積：1232.26平方キロメートル（令和3年10月1日現在）
4. 位置：北緯37度03分02秒、東経140度53分16秒（令和2年4月1日現在）

いわき市の1年

花々咲き誇る春

中山間地である田人地区には、約5万株のクマガイソウの群生地があります。その数は日本最大級とも言われ、例年5月上旬から咲き始め、下旬ごろまで楽しめます。



木々燃ゆる秋

山間地区には、古くから海の男達に守護神として信仰されていた「ニッ駒山」がそびえ立ち、その名の由来でもある、可笑の矢尻を思わせる男岩と女岩の裾野は、秋に色とりどりの紅葉に彩られ、多くの登山客で賑わいます。



光まぶしい夏

沿岸地区には、青い海に白い砂浜のコントラストが美しい複数の海水浴場があり、太陽の光を浴びながら一日をゆったりと過ごすことができます。



幸ゆたかな冬

市内には、いわき伝統料理、冬の味覚の代表「あんころ餅」を食べることができ、お店が数多くあります。あん餅とあんころのカラーゲンたっぷり深いコクが味わえる、冬の味覚を楽しめます。



いわき市の生産マップ

- そば
- ブルーベリー
- 大豆
- アスパラガス
- ねぎ
- 酪農
- 菜ねぎ
- 和牛繁殖
肉用牛肥育
- いちご
- 養豚
- いんげん
- 養鶏
- トマト
- ぎんなん
- いちじく
- とっとりいも
- 梨
- シクラメン
- 菊
- ぶどう



農業を始める前に知っておこう

いろいろな農業経営

複合経営

複数の作物を栽培する経営のことをいいます。必要な機械が増えるなど初期の設備投資が大きくなりますが、凶作時のリスクを分散することが可能になります。いわき市ではこのような経営を行う方が多いです。

単一経営

売上のほとんどを一つの作物が占める経営をいいます。必要な機械や技術は少ないですが、天候不順や病害などで凶作になった場合の打撃は大きいです。

施設園芸

ビニールハウスなどで作物を栽培する方法です。作物の最も適した環境を人工的に作り、旬や他の産地と出荷時期をずらして栽培を行います。小さい面積で高収益を見込めますが、設備投資が大きくなります。

就農形態

雇用就農

法人農家や個人農家に、従業員として就職する方法。毎月決まった給料をもらって働きながら、先輩農家から様々な技術・知識を身につけることができます。働きながら学べるので就職初心者にも人気です。雇用就農を経て独立就農をする方も多です。

独立就農

自分で農地や機械などを確保して、農家の主として事業を興す(起業)こと。土地や初期費用は掛かるものの、自分の采配で営農ができるという魅力があります。「農地」「資金」「技術」の確保に苦労はしますが、志のある方をしっかりサポートするのまずはご相談ください。

独立就農までの流れ

STEP.1

就農イメージの具体化

- 市・県等の窓口へ相談
 - 先輩農家やWebから情報収集
 - 勉強会や相談会への参加
 - 営農計画の作成
- 就農時期、品目、規模、生産量、収益など

STEP.2

就農に向けた準備

- 研修で栽培技術や知識を習得する
- 農地、資金、施設・機械、販路、住宅の確保
- 営農計画をさらに具体化

STEP.3

いざ、就農へ

- 関係機関の常時サポート
- 農林事務所・JA-指導員農士による技術指導
- 補助事業や融資の活用

太陽に育まれる、いわきのうまいもの特集

ねぎ

福島県内でも有数のねぎの産地

いわき市では100年以上前の明治初めから栽培が始まり、現在では福島県内でも有数の産地となっています。収穫時期によって「春ねぎ」（4月～6月）、「夏秋ねぎ」（8月～11月）、「秋冬ねぎ」（11月～3月）と呼ばれ、ほぼ一年中栽培・出荷されていて、特に「秋冬ねぎ」が盛んに栽培されています。

<主な栽培地域> 西倉町大湯地区、草野地区、夏井地区、神谷地区、小沢町、鎌町、山田町などの仁井田川、夏井川、敷川流域、川前、三和

●ねぎが出来るまで(秋冬ねぎ)

播種及び育苗 (3月下旬～6月上旬) 育苗箱で種から苗を育てます。	定植 (5月下旬～7月中旬) 苗を畑に植え付けます。 ※定植・苗を畑に植えること	土寄せ・追肥 (6月下旬～) 生長に合わせて4～5回ほど土と肥料を混ぜておむぎ寄せ、白い部分を伸ばします。	収穫 (11月下旬～3月下旬) 収穫機や手作業で収穫します。	調整・出荷 収穫したねぎの皮や葉を機械で整え、規格別に箱詰めします。
--	--	--	---	--

3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月

いちご

福島県内屈指のいちごの産地

いわき市では昭和20年代後半から栽培が始まり、ハウス栽培で冬から春にかけて収穫されています。現在、「とちおとめ」と福島県オリジナル品種の「ふくはる香」がいわきいちごとして流通しているほか、「章姫」などのいちごが栽培されています。「ふくはる香」は、収量が安定し、やわらかく、酸味が少なく、甘味が強いので、好評を得ており、栽培面積も増えています。

<主な栽培地域> 夏井地区・高久地区・草野地区、西倉町大湯地区、田人町、小川町、湯野町

●いちごが出来るまで(ハウス栽培)

子株の繁殖 (3月下旬～7月中旬) 1つの親株から50株程度の子株を増やし、育てます。	定植 (9月上旬～10月上旬) 生長した子株をビニールハウス内に定植します。	開花・ミツバチ導入 (10月下旬～) 花が咲いたら、受粉させるためにミツバチの巣箱をハウス内に設置します。	収穫・出荷 (11月下旬～6月中旬) いちごの実はとても傷つきやすいので、収穫、箱詰めは全て手作業で行います。	いちごの需要はクリスマス前がもっとも高く、出荷ピークとなっています。
--	---	--	--	------------------------------------

3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月



いわき市のブランド米「Iwaki Laiki」の「Laiki」はハワイ語で「神聖な食べ物である米」を意味します。いわきが生んだ白いダイヤとも言われています。

トマト

世界で一番食べられている野菜

いわき市内では昭和40年代から栽培されるようになり、いわき市の温暖で、日照時間が長い気候を活かしたハウス栽培が盛んで、10月から7月にかけて栽培・出荷されています。露地栽培と合わせると、ほぼ一年中栽培・出荷されています。

<主な栽培地域> 西倉町大湯地区、高久地区、中島地区、草野地区、平赤井、小名浜住吉地区、物東町、鎌町、小川町

●トマトが出来るまで(ハウス栽培)

定植 (8月下旬～9月中旬) 種から育てた苗や、購入した苗をハウスに定植します。	誘引・芽かき (9月上旬～) 支柱に苗を結んで順に生長させたり、葉の付け根から出てくるわき芽を摘み取る「芽かき」をします。	開花 (10月上旬～) ハウス栽培では、マルハナバチ(蜂の一種)を使って受粉させます。	収穫 (10月～7月中旬) 実のおしり少し少し青みが残った状態で収穫します。	美味しいトマトを作るためには、わき芽に栄養を取られないように、芽かきをする必要があります。
---	--	--	---	---

3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月

梨

ブランド名は「サンシャインいわき梨」

いわき市では江戸時代に榎倉藩(現在の平、赤井、小川地区)の藩主が栽培を奨励したのが始まりとされ、明治初めから中期にかけて本格的な栽培が行われるようになりました。現在では地元の市場を中心に出荷され、高い評価を得ています。

<主な栽培地域> 平赤井地区・平屋地区、小川町、好間町、内郷

●梨が出来るまで(梨は苗木を植えてから約6年で収穫が始まり、約30年間収穫できます。)

人工授粉 (4月中旬～下旬) 梨は他家授粉のため、蜂箱などで花粉を授粉させます。	枝管理・摘果 (5月～8月) 実の日当たりや作業を邪魔する枝、小さな実を取りのぞきます。	収穫・出荷 (8月中旬～11月上旬) 実を手作業で収穫し、小川町にある選果場などで選果します。	整枝せん定 (11月下旬～) 新しい枝が育つように、古い枝などを切り落とします。	いわき市は、比較的水はけが良く、日照時間も長いので、甘くて、みずみずしい梨がとれます。
---	---	--	---	---

3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月

先輩農家さんに 直撃インタビュー!



BUN FARM 鈴木 文香さん

いわきへUターン就農。農業未経験スタートだけど、今では天職です!

鈴木さんは大学卒業後、東京のアメリカンレストランに得意の英語を活かして就職しました。しかし、コロナの影響で思うように働けず地元いわきに戻ることに。将来のことを考える中で、食の分野で起業するという学生時代からの夢を叶えるため、農業を志すことになりました。

農業への想いは持っていても農業未経験の鈴木さん。研修制度を利用し、小川町のファーム白石で農業研修を受けました。まったくの初心者でしたが、スポーツ経験から体力に自信がありました。農業研修の傍らアルバイトをして生活費を稼ぐこともあり、寝不足や精神的な苦しさもありましたが諦めずに頑張ったおかげで、無事研修を終え、独立就農を果たしました。今では農業が天職だと感じており、地域に貢献できる農家になることを目指して奮闘中です!

就農前後のギャップ

思い通りにならない気候に苦戦しています。栽培方法を先輩に教わりながら、畑に通した野菜を知るために試行錯誤中ですが、工夫した効果が出るとうれやがたを感じます。地元スーパーへの出荷が中心で、お客さんから「野菜おいしかったよ!」などと声をかけてもらった時は本当にうれいでした。

未来への展望

農業は夢のある魅力的な仕事!
今後は飲食店とコラボして、自身の野菜を使った6次化商品の開発にもチャレンジしていきたいです。



合同会社七浜果樹 渡邊 充彦さん

飲食店で学んだ経営ノウハウは農業へ生かす。夢の観光農園オープンに向けて!

もともと会社員だった渡邊さんは趣味がサーフィンで「サーフィンカフェ」を開店することを考えていました。しかし、コロナと台風により計画は白紙になりました。農業を考えるきっかけとなったのは、愛知県でブルーベリーの観光農園を営む人の本。思い立ったが吉日、神奈川県内の観光ブルーベリー園で農業研修を受けました。その後、いわき市で農地を借り16品種1200本のブルーベリー栽培に着手。水や肥料を自動で撒くブルーベリー養液ポット栽培といういわきではじめてとなる栽培方法を取り入れました。

渡邊さんは農業を通じて「いわきに人々の元気を取り戻したい」と言います。また、2024年6月に観光農園をグランドオープンする予定で着々と準備を進めています。今後は海の家をイメージしたカフェも併設して、新しい農業をしていきたいと語る渡邊さんから目が離せません!

就農前後のギャップ

ブルーベリーの成長が思ったよりも早いことに驚きました。鉢で個別に育てる栽培方法のため、コガネムシの被害で木が枯れてしまうこともあります。降雨や強風、台風など一筋縄ではいかないようなこともあります。収穫したブルーベリーを地元の洋菓子店で使っていただいているのですが、評判がよく、苦労が報われます。

未来への展望

観光農園とカフェ、新しい農業の形をつくる!夏祭りなどのイベントやワークショップを通して、様々な人が交流できる空間にしていきたいと思っています!



いわき市の新規就農支援制度

就農前

相談窓口で、あなたの就農相談に応じます！

- 例
- ・農地はどのように取得したら良いの？
 - ・いわき市では、どのような種類の作物が作れるの？
 - ・新規就農者にはどんな支援策があるの？

まずは、お電話でお気軽にご相談ください。

連絡先

- いわき市農林水産部 農業振興課 担い手支援係
TEL:0246-22-1148
- いわき農林事務所
TEL:0246-24-6162

就農段階

	支援事業	支援対象	支援内容	主な要件等
1	新規就農育成総合対策(就農準備資金) 国制度	指定研修機関等 研修生	年間最大150万円を最長2年間支給	・研修後1年以内に就農 ・50歳未満での就農 <small>※この他にも要件がありますので、詳細についてはお問い合わせください。</small>
2	青年等就農資金 国制度	認定新規就農者	経営に必要な資金を無利子で貸し付け	・返済期間17年以内(据置5年) ・借入限度額3,700万円(特認1億円)

就農後

農業経営が軌道に乗れるように、給付金や農機具・施設等導入の補助等を準備しています。

	支援事業	支援対象	支援内容	主な要件等
1	新規就農者育成総合対策(経営開始資金) 国制度	認定新規就農者	年間最大150万円を最長3年間支給	・所得制限あり ・50歳未満で独立自営、親元就農のうち新規参入者と同等のリスクのある取組を行う者 <small>※この他にも要件がありますので、詳細についてはお問い合わせください。</small>
2	いわき市独自の支援制度	認定新規就農者 認定農業者 等	機械・設備等の導入に対する補助金の交付	詳細についてはお問い合わせください。
3	新規就農者育成総合対策(経営発展支援事業) 国制度	認定新規就農者	機械・設備等の導入に対する補助金の交付	・補助対象事業費 上限1,000万円(経営開始資金の対業者は上限500万円) ・補助率最大4分の3

関係機関アクセスマップ



東京方面から



仙台方面から



いわき市についてのHPはこちら



いわき市役所
<http://www.city.iwaki.lg.jp/>



いわき市農林水産業情報センター
<http://www.agriinfo.jp/>



魅力アップ!いわき情報局
<http://misemasu-iwaki.jp/>



いわき野菜Navi
<http://iwaki-yasai-navi.jp/>